

**忘れてはならない沖縄戦を学ぶ
平和学習会**



6月23日「平和学習会」が行われ21名が参加し、久米島博物館と町内戦跡巡りで、戦争の悲惨さや平和の尊さを学びました。

平和ガイドを務める佐久田勇さん(字山城)は、参加者に沖縄戦に至る経緯や沖縄戦当時の様子について分かりやすく解説し、戦跡巡りではイーブビーチの米軍上陸地をはじめ「宇根の防空壕」や、日本軍に虐殺された住民の名前を刻銘した「痛恨の碑」等を訪れ、平和の尊さ、恒久平和を願いました。

**地域に根ざし、島の環境美化を！
青年団協議会クリーンアップ活動**

6月25日、町青年団協議会(会長:村吉政太)によるクリーンアップが行われました。会員27名により字仲泊のアーリ川水路と町じんぶん館からふれあい公園向け下り坂の草刈作業を実施しました。

村吉会長は「地域に根ざした活動にしよう今年度は、観光地ではなく地域の草刈を行いました。今後も島の環境保全と、島の子ども達の環境美化に対する意識の高揚を図りたい」と話しました。



**全国大会を目指して
グレンツェンピアノコンクール沖縄地区予選大会**

6月10日南城市シュガーホールで開催された、第27回グレンツェンピアノコンクール沖縄地区予選大会に、清水小学校5年生の石川怜君が小学校5・6年生Bコースに出場しました。怜君は3歳からピアノを始め、久米島に引っ越してきた3年前からまゆみピアノ教室(字真謝)で練習に励み、見事金賞を受賞しました。怜君は「さらなる練習を重ね沖縄大会本選で上位入賞を果たして、次は全国大会へ出場したい」と力強く意気込みを述べていました。



**久米島の思いを込めて
ふると納税返礼品開始式**

6月28日「ふると納税返礼品開始式」が仲里庁舎で行われました。

返礼品はマンゴーやクルマエビ等の特産品や、ホテル観察会などの体験メニューなど79点(12事業所)から、寄付額に応じて選べる仕組みになっています。大田町長は「島内生産物の販売拡大、産業活性化になる。貴重な寄付を活用し、島の人材育成に取り組みたい」と期待を込めました。

©特設サイト→<http://furusato-kumejima.jp/>



手作りカホンで楽しく奏でるリズム



6月25日、7月2日の両日、カホン製作ワークショップ(主催・五え松工房、アフリカンバンドtumba)が開かれ、55人が参加しました。

製作キットを使い、講師の宮良耕士郎さんの指導のもと、約1時間半でカホンが完成。製作後は、田村圭介さん(tumba・代表)による叩き方講座も開かれました。参加者の饒平名たまさんは「金づちや紙ヤスリを使い楽しく作りました。初めて叩く自分で作ったカホン。最高です!」と笑顔で話しました。

**南国の暮らしを体験
ながさと交流会**

第53回ながさと交流会が6月30日~7月2日に行われ、十日町市から19名(児童14名、引率5名)が来島しました。学校交流をはじめ、ハテの浜やシーサー作り等とおして、自然や文化、気候風土等を体験しました。滞在中は交流児童の家庭にホームステイし、家庭料理や生活空間にも触れました。今回の交流は、来年1月末に本町児童等が新潟県十日町市を訪問する予定です。



東京と久米島を結び20年

今年も東京と久米島を結ぶ直行便が7月15日~8月31日までの期間限定で運行します。初便となる7月15日は歓迎セレモニーが行われ、ロビー内では大田町長はじめ関係者らが横断幕でお出迎え。到着ゲート内では、試飲・試食コーナーを設置し、久米島の特産品を提供しました。また今年、東京久米島直行便就航20周年を迎えたことを記念して、久米島紬観光レディーの喜友村真夢さんから機長へ花束贈呈を行いました。



**お父さん いつもありがとう
父の日プレゼントづくり教室**

いつも家族のために頑張ってくれるお父さんに「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて「父の日プレゼントづくり教室」が6月17日、久米島紬の里ユイマール館で行われました。参加した25名の子ども達は、大好きなお父さんへのプレゼントとして「コースター」作り挑戦。紬組合の織り子さんの指導を受けながら、世界に1つだけの素敵な「コースター」を作り上げました。

